

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
旅行企画論 Trvel Plan Theory		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 ()		
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、観光学概論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理、観光学概論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
手塚 知代美	講師室	木曜日10時から16時(授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
消費者のニーズが多様化している現在、旅行商品においても個性的なものも多く販売されている。お客様のニーズに応え、また心を捉えるために、どういった工夫をし販売しているのかを理解する。				
授業の目標				
①企画旅行についての特徴を知り、商品作りの基本を学べるようにする。 ②国内旅行の行程を利用し、企画をする上で必要な知識を習得できるようにする。 ③国内主要観光地への理解、日程表の仕組みを身につけるようにする。				
授業の方法				
講義が主体となります。				
学習の成果(学習成果)				
①商品を作ることの大変さを知ること、旅行者が満足する旅行日程を作成できるようになる。 ②商品を作成する上で必要な、観光情報の取得方法や資料の読み取りができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	募集型企画旅行について			
第2回目	インバウンド旅行について			
第3回目	ニューツーリズムについて			
第4回目	観光マーケティングの概念			
第5回目	観光マーケティングのプロセス			
第6回目	北海道地方のツアープランニング			

第7回目	東北地方のツアープランニング
第8回目	関東地方のツアープランニング
第9回目	甲信越地方のツアープランニング
第10回目	東海地方のツアープランニング
第11回目	関西地方のツアープランニング
第12回目	山陰・山陽地方のツアープランニング
第13回目	四国地方のツアープランニング
第14回目	試験
第15回目	九州・沖縄地方のツアープランニング

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。必要なことはノートに取り、積極的に質問する。また、履修上の留意点・ルールをしっかりと守れていること。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト	20%	1回目～5回目に小テストを行い、理解度を確認します。 S評価の基準：S=90-100
試験	60%	14回目の講義時間に試験を行います。 S評価の基準：S=90-100
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：すぐに役立つ 国内旅行地理ベーシック300+α（JTB総合研究所）
参考図書：旅にでたくなる地図 日本（帝国書院）

履修上の留意点・ルール

遅刻厳禁。私語は慎むこと。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。